

令和3年上半期火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

火災概要

令和3年上半期(1月～6月)の出火件数は5件で、前年に比べ1件減少しました。
 建物火災は4件で、前年に比べ増減は無し、そのうち住宅火災については3件で前年に比べ1件減少しました。また、火災による負傷者は2名でいずれも軽症でした。
 出火原因としては「たばこ」「放火の疑い」「電気装置」等となっております。
 損害額については43,419千円で、前年に比べ19,726千円増加しています。

区分		年	令和3年	令和2年	増減
火災件数	合計		5	6	▲ 1
	建物火災		4(住宅3)	4(住宅4)	0
	林野火災				0
	車両火災		1	2	▲ 1
	船舶火災				0
	航空機火災				0
	その他火災				0
焼損棟数			9	6	3
り災世帯数			4	5	▲ 1
面焼積損	建物床面積 (㎡)		991	370	621
	建物表面積 (㎡)		0	57	▲ 57
	林野 (a)				0
損害額 (千円別)	合計		43,419	23,693	19,726
	建物	建物	39,573	19,793	19,780
		収容物	3,816	1,441	2,375
	林野				0
	車両		30	2,459	▲ 2,429
	その他				0
死者数				1	▲ 1
負傷者数			2	4	▲ 2
焼火損元程度建物	全焼		3	1	2
	半焼				0
	部分焼			2	▲ 2
	ぼや		1	1	0
住宅用火災警報器設置件数 ()は住宅火災件数			1(3)	3(4)	

救急概要

令和3年上半期(1月～6月)の救急出動件数は1,992件で、前年同時期に比べ178件、9.8%の増加となりました。1日あたりの平均件数は11件でした。

10年前の同時期と比較すると、349件、21.2%の増加となりますが、最多となった2年前(令和元年)の同時期と比較すると、43件、2.1%の減少となりました。

全体の搬送者のうち、約66.8%が高齢者でした。

搬送人員は1,871人で、小松市民の約57人に1人が利用したことになります。搬送した傷病者のうち約39.9%は軽症者でした。

区分		年	令和3年	令和2年	増減
救急出動件数	合計		1,992	1,814	178
	急病		1,193	1,138	55
	交通事故		106	122	▲ 16
	一般負傷		357	283	74
	転院搬送		271	205	66
	その他		65	66	▲ 1
救急搬送人員	合計		1,871	1,704	167
	急病		1,128	1,064	64
	交通事故		94	105	▲ 11
	一般負傷		332	279	53
	転院搬送		271	205	66
	その他		46	51	▲ 5
傷病者搬送人員年齢別	高齢者		1,250	1,149	101
	成人		484	435	49
	少年		56	54	2
	乳幼児		78	64	14
	新生児		3	2	1
傷病程度別搬送人員	死亡		50	61	▲ 11
	重症		279	234	45
	中等症		795	692	103
	軽症		747	717	30

救助概要

令和3年上半期(1月～6月)の救助出動件数は25件で、前年同時期に比べ9件増加しています。出動の約半数は交通事故によるものです。

救助活動件数は14件、救助人員は15人と前年同時期に比べ増加しました。

区分		年	令和3年	令和2年	増減
出動件数			25	16	9
活動件数			14	11	3
救助人員			15	12	3

